

## 2022 年度日本天文学会天文教育普及賞

【授賞者】 的川 泰宣（まとがわ やすのり）

【活動名】 宇宙教育の先駆的な活動

的川泰宣氏は、東京大学宇宙航空研究所、宇宙科学研究所にて M（ミュー）ロケットの改良、数々の科学衛星の誕生に携わるとともに、宇宙科学の語り部としても活躍された。長年にわたり数多くの執筆活動や講演活動を続け、宇宙開発の挑戦を一般向けにわかりやすく紹介し、子どもたちのみならず大人にも大きな夢を与えてきた。また、宇宙航空研究開発機構（JAXA）において宇宙教育センターの設立（2005年）を先導され、初代センター長を務められた。

宇宙教育の理念は、たんに宇宙探究や宇宙開発で得られた知識や技術を教えたり、宇宙関係の人材を育成するといったことにとどまらず、人類が宇宙に進出しつつあることがわれわれ人類にどのような意味を持ち、人類の活動や文化を支えていく教育をどのように構築できるのかという提起とともに、青少年育成を広い視野でとらえる概念として提唱されている。JAXA 宇宙教育センターではこうした理念を基軸に、小・中・高校の授業支援、教員支援を核とした数々の教育プログラムが創出され、各地の教育現場では多岐にわたる実践が重ねられており、JAXA だけでは決して成しえない広がりとなつて的川氏の提唱したコンセプトが発展継承されている。

的川氏は現在 JAXA 名誉教授であるが、JAXA 以外での数々の先駆的な活動もそれぞれ実を結んでいる。宇宙時代の地球人を育成する「日本宇宙少年団（YAC）」の運営、「子ども・宇宙・未来の会（KU-MA）」創設も手がけられ、これらは各地の団体・個人と協働して全国的なネットワークとなり、全国津々浦々に宇宙教育を推進する拠点が生まれている。宇宙という視点から命の尊さや生きる意味をも学びあう場となっており、教育者のみならず、共感し賛同する幅広い支援者によって世代を超えた活動が支えられ続けている。宇宙教育の理念を具体的な形にして活動の礎を築いてきた的川氏は「宇宙教育の父」とも称されている。

これらの活動においては天文学の成果や題材も多く取り入れられており、天文教育普及分野への波及も少なからぬものがある。宇宙という視点から心豊かな未来の担い手を育ていくという姿勢は、現職のはまぎんこども宇宙科学館の館長としても貫かれておられる。宇宙教育の先駆的な活動、さらには長年にわたる広範な教育普及活動の功績を称え、2022 年度天文教育普及賞を授与する。